

まちのできごと

ボランティアで健康づくり



今から掃除始めます！
(町境公衆トイレ班)



掃除終了後に一枚
(田代保健センター班)

10月15日、「健康づくりの会」(井手口政頼会長、会員75名)の皆さんが3班に分かれて町内の清掃作業を行いました。

これは、会発足当初から毎年行っているもので今年で7回目になります。清掃作業は日差しの強い日中に行われましたが、皆さん疲れた表情一つ見せずに手際よく作業を進めていました。

皆さんが清掃された後は、とてもきれいになり利用者の喜ぶ顔が目につかぶようでした。

今年から参加された大根占地区の会員は鹿屋市との境にある公衆トイレを清掃し、落司妙子(瀬戸山自治会)さんは「利用者の方に少しでも気持ちよく利用して欲しい。」との思いを込めて清掃されたとのことでした。

また、田代地区の招魂墓碑周辺を作業された久保幸雄さん(鶴園自治会)は「平均年齢75歳の会員が元気にボランティア活動ができるのも健康づくりの賜物だと思います。この健康づくりがもっと広まって、『生涯現役楽しい人生』をみんなで送りたいです。」と話されました。

そして、田代保健センターを担当された隈元矩子さん(西中郡自治会)が「地元にも貢献できて、健康づくりもできて一石二鳥にも三鳥にもなるからとても良いです。掃除は心の健康づくりなんですよ。」とすがすがしく話された姿がとても印象的でした。



手際の良い清掃作業
(招魂墓碑周辺班)



馬場地区公民館での綱引きの様子

十五夜の晩に

10月上旬ころ、町内の各地区で十五夜行事が開催され、それぞれ大変な盛り上がりを見せました。

当日は、各地区ともカヤ引きから綱練りと大量の汗をかきながら十五夜の晩を楽しむため精力的に活動されたようです。

10月3日に行われた馬場地区公民館の綱引き大会では、自治会対抗戦や親子対決などが行われ、大きな歓声に包まれていました。

当日、進行役を務めた新田敏郎さん(山之内自治会)は「この十五夜綱引きは3回目ですが、その前は馬場地区での十五夜行事は何十年も行われていませんでした。ですので公民館員みんなで力を合わせてこのような行事が出来ることをうれしく思いますし、毎回子供のころの十五夜を思い出して心が弾みます。

今の子供たちが大人になる時もこのような行事が残っているように私達も頑張っていきたいです。」と話されました。

町内で行われている十五夜行事などの伝統行事がいつまでもその灯を絶やさずについてほしいと思います。